

4号機 燃料プール内での異物回収について

平成 18 年 5 月 22 日

発生号機	4号機（定期検査中） ：沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成18年5月22日
発生時の状況	平成18年5月22日、原子炉建屋4階（放射線管理区域内）において、燃料プール内（※1）に保管されている原子燃料を原子炉に装荷する作業を行っていたところ、午前9時30分頃、燃料プールにある使用済燃料1体の上に異物があることを当社社員が確認し、午前11時35分に回収しました。 回収物は、点検作業で用いるナイロン製たわし（※2）でした。 この回収物は、使用済燃料の冷却に影響を及ぼすことはなく、発電所の安全性への影響はありません。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。 また、作業者等への被ばくはありません。
原因	燃料プール周辺で作業を実施した際、燃料プールに落下したものと推定されます。
対策	作業時における異物侵入防止の徹底を図ります。
お知らせ基準	「表2-8」に該当します。

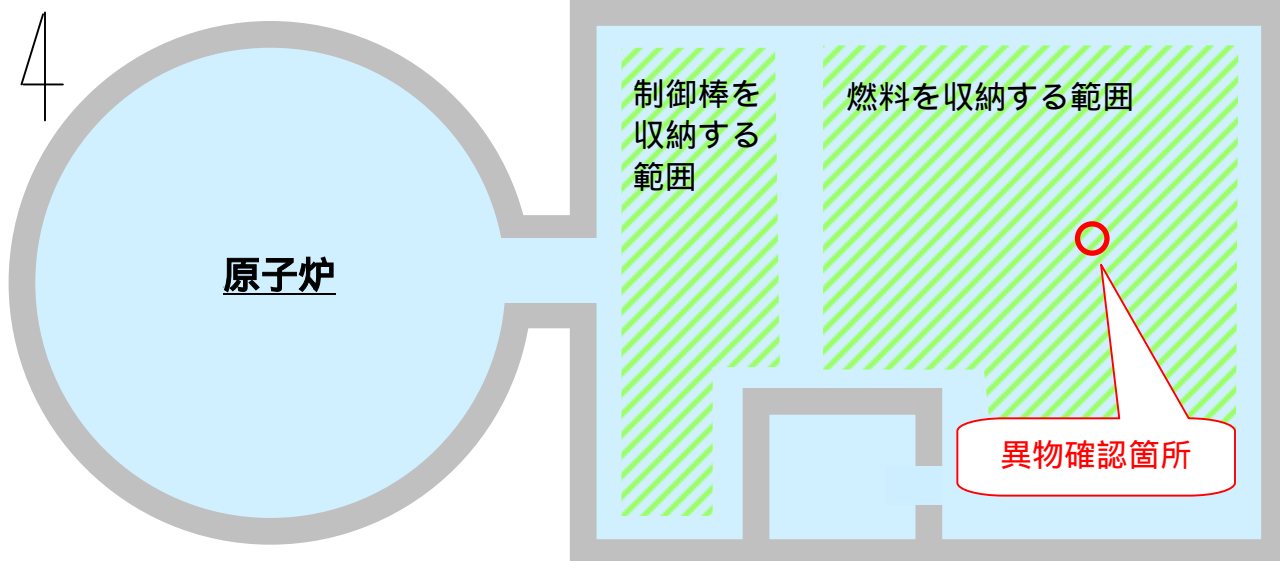
※1 燃料プールは使用済燃料や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。

※2 ナイロン製たわしは、金属等の表面を磨くために使用します。

以上

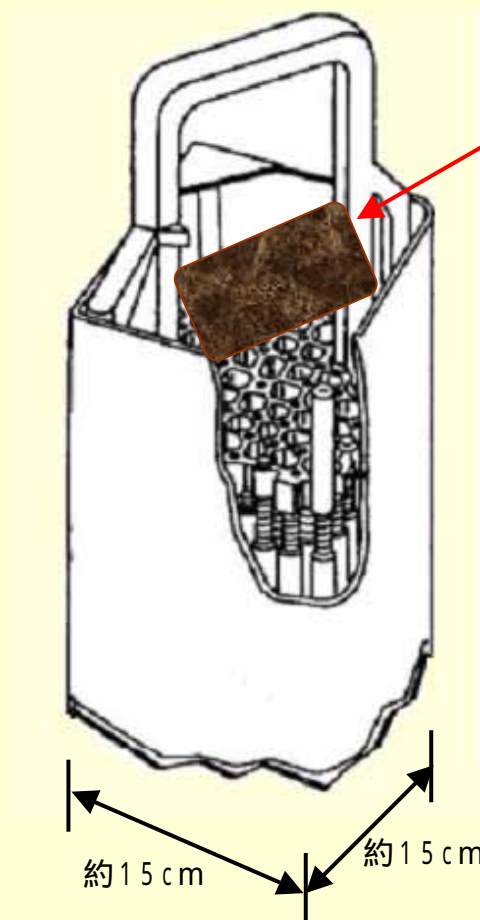
燃料プール内の配置と異物確認箇所

燃料プール

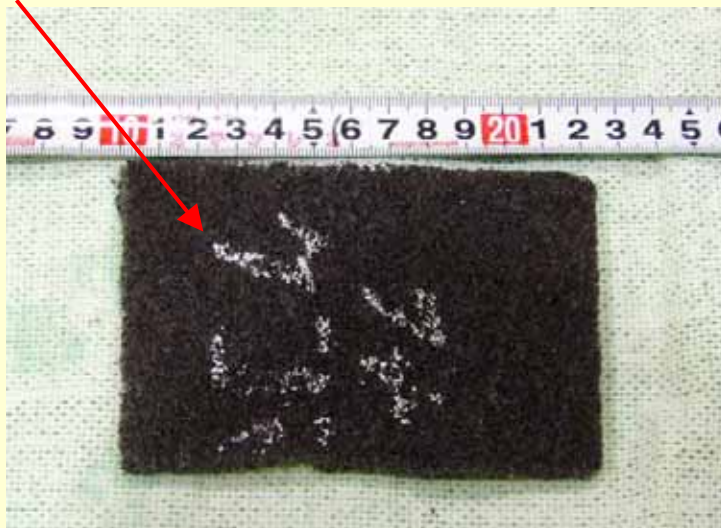


回収された異物の状況

原子燃料



異物



回収された異物

（ナイロン製たわし
約12cm × 約7.5cm × 約0.7cm）